

平成 30 年 12 月 25 日作成

平成 30 年度第 1 回鎌倉市医師会立産科診療所運営協議会 会議録

運営協議会を次のとおり開催しました。

(敬略)

| | | |
|--------------|--|-------|
| 協議会名称 | 鎌倉市医師会立産科診療所運営協議会 | |
| 開催日時 | 平成 30 年 7 月 31 日 (火) 19 時 30 分～20 時 49 分 | |
| 開催場所 | 鎌倉市役所 第 3 分庁舎 1 階 講堂 | |
| 委員 出席者 | 特定非営利活動法人 小児臨床研究支援ネットワーク 理事長 | 名取 道也 |
| | 特定非営利活動法人 医療ガバナンス研究所 理事長 | 上 昌広 |
| | 公認会計士 | 田坂 真子 |
| | 弁護士 | 増本 敏子 |
| | ファミリーサポートセンター理事 | 高橋 佳子 |
| 医師会・ 市出席者 | 鎌倉市医師会 副会長 | 井上 俊夫 |
| | 鎌倉市医師会 理事 (産科診療所担当) | 西尾 佳晃 |
| | 産科診療所 所長 | 高山 照雄 |
| | 鎌倉市医師会 産科診療所顧問 | 黒川 民男 |
| | 鎌倉市健康福祉部長 | 内海 正彦 |
| 次回開催 予定日 | 平成 31 年 1 月下旬 | |
| 問合せ先 | 鎌倉市医師会 事務局 電話番号 0467-22-1245 | |
| 会議記録 | 以下のとおり | |

1 開会

事務局 これから30年度第1回鎌倉市医師会立産科診療所運営協議会を始めます。よろしくお願いたします。事務局から2点、ご連絡をさせていただきます。最初に、今回から渡邊委員の後任として高橋佳子様に委員をお願いしましたので、ご紹介させていただきます。ご挨拶をお願いします。

委員 今回から委員にならせていただきました高橋佳子と申します。どうぞよろしくお願いたします。社会福祉士、精神保健福祉士の資格を持っており、今は学校でスクールソーシャルワーカーの仕事や、ファミリーサポートセンターの理事をさせていただいていることと、あとは前委員の渡邊さんと一緒に居場所づくりの

市民活動をしております。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。これから市民の意見をいろいろと教えていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。また、本日は井口医師会長が病气療養中のため欠席となります。それでは、今年度の会議を始めたいと思います。出席委員は5名、過半を超えておりますので、本協議会設置要綱第6条第2項の規定により会議は成立しておりますことをご報告いたします。この後の進行は会長にお願いいたしますので、よろしくお願いいたします。

会長 はい。暑い中、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。では、本年度第1回の会議を開催させていただきます。最初に、前回の議事録について、何か問題点があれば、ご指摘をいただきたいと思いますが、よろしいですか。

事務局 ありがとうございます。議事録につきましては、医師会のホームページに掲載させていただきたいと思います。

会長 それでは、最初の議題として、平成29年度決算状況等の説明からお願いします。

事務局 それでは、平成29年度の決算状況等ということで、資料の順番に沿って説明をしていきたいと思います。まず平成29年度運営費補助金実績報告書、資料1になります。鎌倉市から交付を受けております産科診療所運営費補助金に係る事業の実績について、鎌倉市長へ報告したものであります。実経費支出額が2億6,837万4,408円、補助の対象となる経費は1億2,604万1,494円、年度当初1億3,041万6,000円、3月に追加で707万3,821円、合計1億3,748万9,821円の交付を受けておりましたので、1,144万8,327円の剰余金が生じ、同額を返還いたしました。続きまして、平成29年度の運営費収支報告書、資料2になります。事業活動収入の補助金は、鎌倉市からの運営費補助金1億2,604万1,494円及び分娩手当補助金52万6,000円並びに神奈川県からの帝王切開術対応医師確保事業補助金25万円で、合計1億2,681万7,492円、予算に対しまして439万8,506円の減となりました。受取受託料は鎌倉市から受託した、はじめまして赤ちゃん広場事業の受託料24万6,000円、新生児訪問事業の受託料41万9,940円、市の子宮頸がん検診受託料55万4,179円、風疹等予防接種受託料8万8,270円などで、合計131万8,989円。受取利息、自動販売機売上手数料等の諸収益は7万106円です。診療収入は保険収入、自

費収入があり、さらにそれぞれに外来収入に入院収入があります。合計1億4,016万8,251円で、当初見込んだ分娩件数165件を下回ったことにより、予算に対し263万8,749円の減額となりました。事業活動収入合計は2億6,837万4,840円でした。事業活動支出の事業管理費の主なものは、食事提供、臨床検査、清掃等の委託料、2,745万3,377円、薬品、消耗器材購入のための薬品材料費641万6,045円、診療所の土地建物賃借料、医療機器リース料等の賃借料、3,958万1,114円などで、合計8,476万9,404円、人件費支出は医師及び看護、事務スタッフの人件費で1億8,360万5,436円となりました。事業活動支出合計は2億6,837万4,840円となり、事業活動支出差額は0円でした。なお、市からの運営費補助金につきましては、当初1億3,041万6,000円、3月に追加で707万3,821円の、合わせて1億3,748万9,821円の交付を受けておりましたが、剰余金が生じたことになったため、1,144万8,327円の返還を行いました。結果として平成29年度の運営費補助金は1億2,604万1,419円になりました。続きまして、事業報告書、資料3になります。産科診療所の事業の概要でございます。その内容につきましては資料4-1から資料4-5までになります。資料4-1、平成29年度1年間の分娩の件数は、平成28年度175件より10%減の158件となりました。住所別の内訳では、市内の方106人、全体の67%、里帰りの方32人、全体の20%、市外の方20人、全体の13%で、月平均約13分娩となっております。前年度に比べて減少したのは市内の方と里帰りの方でした。帝王切開は15件で、うち1件が緊急でした。母親の出産時の年齢は、開設以来一番多いのが31歳から35歳の方で、42.5%となっております。続きまして、資料4-2の分娩者地域別の内訳でございます。市内を五つの行政地域、市外は近隣の逗子市、葉山町、藤沢市、栄区、戸塚区、その他と分けて集計いたしました。平成28年度との比較で、割合として増えたのが鎌倉地域、腰越地域、葉山町、減ったのは深沢地域、大船地域、玉縄地域、里帰り、逗子市、藤沢市でした。鎌倉地域の方は前年に比べ、件数では同じとなっておりますが、全体に占める割合は4割を超えております。続きまして、資料4-3、分娩予約状況でございます。今年度6月末現在においては、前年の同時期と比較いたしまして、ほぼ同じような状況となっております。続いて、資料4-4、外来診療件数等でございます。外来診療件数は年間4,747件で、前年度とほぼ変わらない数

字になっております。内訳は妊婦健診が3,487件で、前年度とほぼ同じ。一か月健診は170件で18%の減少、二週間健診は153件で8%の減少、母乳外来は315件で3%の減少、婦人科は513件で34%の増加、市の子宮頸がん検診は109件、13%の減少、風しんやインフルエンザの予防接種は114件、19%の増加、平成25年度から続いていた外来診療全体の減少傾向というのは、ひとまず歯止めがかかったように思われます。続きまして、資料4-5、各種教室等の開催状況です。妊娠初期と後期の2部制で実施しております両親教室は、24回の開催で234人の方の参加を得ています。前年と比べ21人増加あり、更に積極的に参加を呼びかけていきたいと思っております。そのほか、市からの受託事業「はじめまして赤ちゃん広場」は12回開催で81組の参加を得ています。また、市の産婦、新生児等の訪問指導事業は105件実施いたしました。各種教室は順次拡充を図り、表に記載されているとおりでございます。平成29年度は新たな取り組みとして「夫婦おめでたスタンバイ」を始めました。続いて、市の報告。

鎌倉市 資料4-6、鎌倉市の出産状況等について説明させていただきます。資料4-6をご覧ください。今まで二つの表に分かれていましたが、母子手帳交付数等をここに追加し、一表にさせていただきます。こちらの資料は出生健診連絡票の提出件数と母子健康手帳の交付件数を示しております。ただ、出生連絡票は窓口、郵送等で市に届け出があった月で集計しておりますので、実際の生まれ月とは少し差が生じていますことをご承知おきください。まずは資料4-6、右下の平成29年度の状況をご覧ください。鎌倉市全体で、平成29年度の出生連絡票の件数は1,002件、平成28年度と比較して82件減少し、ティアラかまくら開設以来、最小の件数となっております。続いて、出産した場所の状況ですが、市内4施設が1,002件中の552件、55.1%となっており、平成28年度の1,084件中609件、56.2%から、57件、割合として1.1%の減少となっております。市民の割合をこの平成28年、29年度で比較してみますと、ティアラかまくらは107件、9.9%だったのが、108件、10.8%で、湘南鎌倉総合病院は187件、17.3%が、平成29年度は143件、14.3%。矢内原医院は219件、20.2%だったのが、174件で17.3%、湘南鎌倉パースクリニックが96件、8.9%だったのが、127件で12.7%となっております。また、湘南鎌倉パースクリニックと湘南鎌倉総合病院を足しますと、両方で270件と、

湘南鎌倉総合病院が少し減っていますが、湘南バースが少し増えており、合計で前年度の283件から13件減っております。また、県外での出産の割合が1.8%増加して、全体として19.3%になっています。また、平成29年度の母子健康手帳の交付数につきましては1,095件で、平成28年度の1,119件から24件の減少となっております。資料の一番下には、鎌倉市民以外を含めた各施設の分娩件数を記載しています。平成29年度のティアラかまくらは、前年度の175件から17件の減少で158件、湘南鎌倉総合病院は542件から99件の減少ですが、湘南鎌倉バースクリニックが308件ですので、徳洲会としては751件となりまして、前年度から56件の減少となっております。矢内原医院は86件の減少となりました。鎌倉市民の出産件数が減少している中、市内での出産割合は55%を超えている状況にあります。一方、出生数全体として減少していることに伴いまして、ティアラかまくらの分娩件数も減少が続いております。平成30年度4月から6月の分娩件数につきましては、今のところ前年度比マイナス1件ということで、昨年度並みの件数を維持しているところですが、母子手帳の交付件数が昨年度と比較して減っていますので、これまでの経過から見ると、今後、大きな件数増加というところは期待できないと考えております。

会 長 ありがとうございます。平成29年度、この3月までの実績というのが今お話をいただいたわけです。前回の本委員会の議論でも、この平成29年度の実績をよく見ながら、今後の方針等もまた協議を重ねていくことになっていたかと思えます。どうぞ、平成29年度の実績について何かご質問、ご意見等があればと思えます。最後の資料4-6にございますように、この地域における分娩数というのは、この数年で大体8%から10%ずつぐらいは毎年少なくなっております。その中で、ティアラがどのくらいの役割を占めているかということが、ここに経年的に表示をされているわけですが、前年度との比較においては、鎌倉市の在住の方の分娩数という点では、一挙に増えた。少なくとも減ってはいない。大変喜ばしいというお話です。全体としては少し減っているわけですが、ただ、減り方も、鎌倉市全体の分娩数の減り方が、約8%ぐらいでしょうか。それに比べてティアラの分の減り方はおそらく5%ぐらいですかね。正確な数字ではございませんが。前年のときにどこまで行くのだろうと危惧をしていたのですが、一応とまっ

ているかなどの印象は持っております。どうぞ、ご質問、ご意見を。

委員 資料2について少し確認させてください。事業活動支出の賃借料は、病院の建物の賃料以外の変動要素があったのかということと、修繕費が予算額よりも大幅に発生したような形になっていることの要因について教えていただけますでしょうか。

事務局 リース料に一部変動とありますが、再リースしていたもので使えなくなってしまって、やむを得ず新規に更新したというものや逆のケースもありますので、そこで若干の変動があります。

会長 これは医療機器のリース代もこの中に入っていますか。

事務局 医療機器あるいは事務機器等も含めての話です。

会長 もう一つのご質問が、修繕費が予算額と比べて3倍近いと。

事務局 これは医師会が公益法人になった機会に科目の変更があった関係で、従来、手数料で計上していたもの、あるいは委託料で計上していたものが、保守点検等については修繕費に移行させたという経過があって、このような形になっております。

委員 費目が変わったわけですか。

事務局 そうです。中身は大きくは変わってはおりません。ただ、修繕費については、開設以来もう10年近くなり、あちこち小さな修繕、修理が増えてきていることは確かだと思います。

委員 修繕費は科目変更で、手数料から一部振り替えたということですが、手数料をその科目へ振り替えた上で、まだ予算より決算額が多くなったのは、何か予算外の手数料等が発生したのでしょうか。

事務局 予定外の支出につきましては、まず大きなのは排煙オペレーターの修理、その他ドアフォンが壊れたとか、下水の配管が詰まったといった修理がございます。

会長 他には何かご質問等がございますか。この当初の予算よりも、良好な収支状況になった主たる理由は何と考えればよろしいのでしょうか。

事務局 収入の面からいけば、当然、分娩数が減ることによって大きな影響があります。一分娩、私どものところで1人6、70万ぐらいはあると思うのですけれども、1件でそれだけですから、10件で、すぐに700万、800万、1,000万近い数字が出てき

ます。ただ、そういった分娩数の減少を補うべく婦人科を始めたということで、少しずつ婦人科の診療が増えてきています。そういった部分で、診療収入も少しは落ち込みの具合を補えるようになっているのかなと思っております。もう1点は、人件費で、前回のときもお話しをしましたが、非常勤の先生の勤務体制を少し見直しまして、年間で数百万の人件費を削減できていることが数字になっていると思います。

会 長 それは、前回のこの協議会の議論のときに出たようなお話が着実に実行されていたということでしょうか。

事務局 そうです。非常勤の先生の体制については平成29年度から取り組んでいます。

会 長 はい。ありがとうございます。よろしいでしょうか。それでは、特にご意見がなければ、平成29年度の決算状況については、協議会としては特に異論がないということにさせていただきたいと思います。では、続きまして、平成30年度の予算状況についてご説明をお願いいたします。

事務局 平成30年度の予算状況等について説明させていただきます。まず、資料5の平成30年度の運営費補助金の交付申請書になります。1億4,061万1,000円の交付申請を行いまして、4月23日付で交付決定をいただいております。その内容については次の資料6の運営費支出計画書になります。分娩取扱件数については平成29年度の実績状況から、140件、10%の減少と見込んでおります。事業活動収入の補助金は鎌倉市からの運営費補助金1億4,061万1,000円及び産科医師分娩手当補助金46万6,000円並びに神奈川県医師会からの補助金1万円で、合計1億4,108万7,000円を。受取受託料は鎌倉市から受託する、はじめまして赤ちゃん広場事業24万6,000円、新生児訪問事業46万1,000円、市の子宮頸がん検診79万4,000円、風疹等予防接種20万4,000円、合計170万5,000円を。諸収益は受取利息や自販機売上手数料等の12万3,000円、診療収入は妊婦検診等による外来収入、分娩に係る入院収入で、1億2,423万4,000円を、事業活動収入の合計は2億6,714万9,000円を見込みました。平成29年度当初予算額と比較して869万5,000円の減少となっております。次に事業活動支出ですが、事業管理費の主なものは食事提供、臨床検査、清掃等の委託料が2,445万2,000円、薬品消耗費材の購入に要する薬品材料費が648万3,000円、診療所の土地建物の借料、医療機器リース料等の賃借料が

3,951万8,000円、合計で8,240万4,000円を見込みました。人件費は医師及び看護事務スタッフの給料、諸手当、法定福利費、退職給与引当金等で合計1億8,488万円を見込みました。事業活動支出の合計は2億6,728万4,000円でございます。前年度当初予算と比較しまして、1,020万5,000円の減額となっております。収支の差額がマイナス13万5,000円となっておりますが、これは鎌倉市の予算編成作業の時期と、医師会の編成の時期とのずれがありまして、市の方が早い時期に行われたということで、補助金に関する市の予算案の決定が先になってしまったということで、若干の差異が生じております。続いて、平成30年度の運営事業計画書、資料7でございます。前年度の事業計画の概要とほぼ同様の内容となっております。以上で説明を終わります。

会 長 ありがとうございます。ベースは平成29年度の分娩実績から140件ということ的前提にして、控えめにプランを立てているということです。あとは、先ほど話が出ていました、修繕費はかなり多目ですね。どんどん増えていくという話を前から伺っているのですが、大丈夫ですか。

事務局 大きな金額の修繕が増えてくるような感じですか。実際に平成30年度の予算で見込んでなかったのですが4月に空調の機械が故障しまして、コンプレッサーもだめになり130万円弱が出ております。空調等はやむを得ずすぐに実施しました。そのような部分が、例えば雨漏りとか小さなところでも、修繕には多額の費用を要するものが増えてくるのではないかと。

会 長 こういふのは、壊れてから修理するのではなくて、壊れそうだからあらかじめ予算を組んで対応しておくといったような発想はないですか。

事務局 金額的に多額にならないものについてはあらかじめ組み込んでやる部分もありますし、あと多額になるものについては市との相談の中で、予算に反映させていきたいと思っております。

委 員 市の補助金が前年度予算より1,000万ほど増加している点と、分娩件数は実績よりもさらに低く見ているのですが、この補助金が増えるのはその分娩件数が減って経費の一定の固定費の部分が分娩件数のところで賄えない分、補助金が増えるという理解でよろしいですか。

事務局 そうですね。

会 長 市の場合も、このような公的な予算は、例えば分娩件数が予想外に多くなって収入が増えたからといってその金を使って老朽化した機械を買い替えるとか、予算化されていないことはできないですよ。

事務局 基本的にはお返しすることになります。ただ、想定外修繕とか、あるいは機器の更新とかが余儀なくされた場合には、市との相談の中でその分についての執行が可能かどうかは協議していきたいと思っておりますが、これは市の意向もありますので。

副会長 減価償却とか積み立てとかはしていないのですよね。

事務局 そうですね、医療機器関係はほとんどがリースになりますし、建物は大家さんがいますので。

副会長 このアルバイトの先生には1日どれぐらい給料を払っているのですか。

事務局 日勤で7万円、当直で8万円ですね。

副会長 少し割高ですね。

委 員 私も市民の立場で。去年の資料ですと割と全体的に老朽化しているので、見かけがよくないみたいな記載があるので、もうちょっと外見적으로よくしようみたいなところのお話というのは、まだ検討の段階でということですか。

事務局 正直なところ、そこまではまだ予算が回らないというのはあります。産科の一つの特徴的なところは、見た目というのは非常に大事なことです。それから、中に入っただけの居心地とかも非常に重要です。あるいは入院したときの食事によって随分違います。ネット上で食事がよかったとか。あと私どもに来る妊婦さんについても、うちの食事が食べたくてうちで分娩すると決めていらっしゃる方もいます。

会 長 大事だと思いますよ。それをうまく維持する、またはよりレベルを上げるための予算というのがあってしかるべきというご意見だと思うのです。

事務局 予算的には、そこはありません。

会 長 それは鶏と卵みたいなもので、見かけをよくすればそれを引き金にして収入が上がるかもしれない。よくある話は収入を上げたら見かけをよくするよというご意見が多いのですが、その辺のお考えは同じようなものですか。

事務局 その辺は設備の把握も含めて、市と協議を進めていきたいと思っております。

会 長 そうですよ。ぜひ、見た目が大事なので。

事務局 できるだけ日常で外見、トーンも含めてリニューアルというのは必要だとは思っています。見た目の清潔さを保つために清掃については、常時1人の清掃員が常駐するような形で心がけはしています。

委 員 お食事はすごく評判がいいということでしょうか。

事務局 そうですね。非常に皆さん、おいしくて、退院なさった方もまた食べたいとおっしゃる方がいるぐらいです。

委 員 なるほど。前委員からも食の専門家でいらして、私も食にかかわるところなので。あと自分の経験からも、2人目、3人目は助産院だったのですが、素朴なんですけどすごくお食事がおいしくて、第1子が病院だったので確かにその違いがあって、多分お金をかけるというよりも、ソフトの面でもすごく改善できる部分だと思うので、ネットの評判とかよくなってくると、フルコースを出すとかいうことではなくてきっとここのよさがあるのではないかなとも思います。

委 員 市の補助金の額はこれで決定ですか。

会 長 恐らく決定ですよ。予算が当然。前年度にやっているはずだから。

事務局 平成30年度については、既に半分はいただいている。

会 長 ほかにございませんか。それでは、運営体制についてお願いいたします。

事務局 まず現在の体制、これは7月1日現在の運営体制ですが、資料8の左側の部分をご覧ください。医師、看護スタッフ、事務員という分類で説明をします。医師の外来診療については、今年の7月から土曜日の外来担当の変更を行い、それぞれの非常勤体制も一部変更しました。高山所長は月曜日と火曜日、木曜日を担当しております。それ以外の曜日は非常勤医師4名が交代で担当をしております。内訳は東京女子医大の佐藤陽一医師、東京慈恵会医大の川畑医師、齋藤医師、小児科の1カ月検診は横浜市立大学の岩間医師が担当しております。病棟は外来に当たっていない非常勤の産科医師と高山所長との交代で行っております。当直については非常勤の医師が担当しており、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日の当直医師は翌日外来を担当することになっております。帝王切開に際しての麻酔科の医師は東京麻酔グループと契約しておりますので、吉野医師ほか21名の中から派遣されてまいります。看護スタッフは開設当初は婦長が1名、非常勤助産師9

名、常勤看護師3名、非常勤助産師6名の体制でありましたが、現在は主任1名、これは助産師です。常勤助産師9名、常勤看護師1名、非常勤助産師3名の体制で運営しております。外来については、助産師、看護師の常勤が1名、非常勤2名で、病棟は助産師、看護師の常勤2名が、夜勤は助産師、看護師の2名が担当をしております。新生児訪問については常勤・非常勤助産師が交代で週1回行っています。両親教室は常勤・非常勤の助産師、看護師が月1回行っております。はじめまして赤ちゃん広場、母と娘の月経教室、男の子からだ教室、大人女性のマナビ、帝王切開講座、いのちの物語、子育て孫育て、パパクラス、トコベル教室、夫婦おめでたスタンバイ、呼吸教室については外部の講師によって行っており、それ以外はティアラのスタッフが行っております。事務員は私を含めて常勤2名、非常勤1名でございます。これが今の体制でございます。資料8から資料9をご覧ください。今後の体制についてでございます。運営費の削減を行うために、この資料9にあるような削減案を実施していきたいと思っております。分娩件数の減少ということで市の補助金が年々増大しておりますので、運営体制の見直しを行って合理的かつ効率的な運営を図ることで、軽費の圧縮を図りティアラの存続につなげていきたいと考えており、これまでは前回の本協議会の中で報告をしているところです。今年度の実施予定についてはこの資料9でお示したところです。なお、非常勤医師については先ほども話に出ましたが、土曜日勤務体制の見直し、それから夜間のバックアップ体制の廃止ということで、両方で約500万程度の経費の縮減、削減ができると考えており、既にこれは実施をいたしております。今日お示ししているのは職員に係る部分です。まず、賞与の年間0.5カ月分削減です。平成29年度の決算で見ますと、約168万円の削減効果が期待できます。次に人員の削減です。既に2月10日付で退職をした常勤事務員1名がおりますが、この常勤事務員の退職に伴う常勤での補充は行わない予定です。削減効果は約340万になります。さらに今月7月31日付で退職を予定しております常勤助産師2名についても常勤での補充は行わないことといたしております。削減効果としては約428万円になります。この業務の一部については非常勤の職員で賄うこととせざるを得ない部分もございますので、削減効果額についてはそれらを加味したものとなっております。最後に1人夜勤について、前回の本協議会でもそ

の話が出ていましたが、妊産婦の安心安全の面について危惧する声が多く上がっていると思いますので、医師不在の時間帯の解消、導入条件、シフトの組み方、待機職員の勤務の仕方、規定の改正など、具体的な課題についてまだ詰め切れていないということもあり、直ちに実施することは難しい状況にあります。しかしながら、今後導入に向けて引き続きの検討を進めていきたいと考えております。以上がティアラかまぐららの運営費の削減案でございます。

会 長 ありがとうございます。運営費の削減、それから今年度の運営体制についてご説明をいただきました。これは前回からの懸案でご尽力をいただいていることですが、何かご意見等はございますか。この助産師の方が7月31日付でお二人退職と。常勤での補充を行わないと書いてありますが、常勤じゃないという条件で雇用が可能なのですか。

事務局 はい。

会 長 助産師は、日本では結構きついマーケットなので、なかなか探してもいないというのが現実のような気がしますが、そういう点では恵まれた状況にあるわけですね。全支出に占める補助金の割合が、この平成28年度、29年度、また30年度の予想という中で変化は減っている方向にあるのでしょうか。

事務局 平成30年度は増えています。

会 長 それは140分娩を前提にしてプランを立てているからそうなるわけですね。平成29年度と28年度では大体同じぐらいの感じですか。平成29年度が1億3,700万ですから。

事務局 そうですね。ただ、平成28年度に比較すると平成29年度決算額は1,300万ほど増えております。平成30年度の予算は、さらに140分娩という前提でやっておりますので、当然平成30年度予算は平成29年度決算数値よりも1,300万円ほど増えています。

委 員 割合としてはそうだと思いますね。固定費がかかっている人数が減っていますから、そうでしょうね。

会 長 理想的にはとにかく分娩数が増えるのが一番ですけどね。

事務局 そうですね。予想している140分娩をどこまで上回るかでお返しできるものが出てくると思います。

委員 そうですね。平成29年も、156分娩かなという予測が2人増えたのですよね。158分娩ですものね。

会長 あと、鎌倉市民のお役に立っているという点では、ずっといいペースで来ているわけですよね。

委員 婦人科を始められて収益金をしっかり見ていないけど、何か収益につながる、何かほかのことで上がるような何かは想定しているのですか。

会長 収入は上がっていますね。外来でしょうね。

事務局 婦人科の患者さんが増えているということで、収入の落ち込みが若干緩やかになっていると思います。分娩数が減って当然落ち込みは非常に大きいのですが、そこをできるだけ補おうということでやっています。婦人科も診療しているということがだんだん知られてきていますので、がん検診などをさらに広めていきたいと思っています。

委員 なかなか分娩は下げ止まりぐらいになっていると思いますが、多分行政として触れるのが難しい。

会長 日本中でずっと10%程度落ちこちてきていますからね。

委員 鎌倉だけ突然増えるというのはね。

委員 そうですよね。そうするとほかの部分で収益が上がる、何かほかの要素とかがあればと思う。私はファミリーサポートセンターで仕事をしていますけれど、そこだと結構、産後うつへの支援をさせていただくこともあって、例えば産科が終わった後に少し元気がなくなっているお母様向けの精神科医とかまで行くとまた少し予算の問題がかかってくると思うのですが、精神的なフォローをするような心理面のケアをするようなところで、そこが逆に収益が上がらなくなってしまうかもしれないのですが、そういう面も今はかなり増えて産後うつに関してはすごく問題になっているので、そういったところのフォローがあるよなんていうと、またもう少し見方が変わってくる可能性もあるかなと、専門分野としては思っています。

会長 幾つかの医療機関では出産後の1カ月健診のときにうつ状態になって来ちゃう妊婦さんが結構いるので、間の2週間ぐらいのところでも1回来てよというのを実施しているところもありますので。

鎌倉市 今年度から鎌倉市では産後健診を2週間と1カ月の2回に増やしているが、今年度からそこにエジンバラ産後うつ質問票を追加しまして、さらに産後ケア事業をショートステイとデイサービスと、アウトリーチの3種類を始めているところです。もちろんティアラだけではなく、市内のほかの産科医療機関と全て契約を結んでいて、お母さんの希望で調整をしていますので。

会 長 それは今年度からですか。

鎌倉市 今年度からです。

会 長 それではその分も当然多少の予算増収の要因にはなるわけですか。

鎌倉市 そうですね。でも、そんなに件数は多くないです。

会 長 いや、それはそうですけどね。

委 員 ティアラもその受け皿の一つにはなるわけよね。

事務局 既に当院では3件受けております。これは鎌倉市の産後ケア事業のものを受けたものですが、そのほかに最近では産後ケアを自治体が助成してくれるというやり方が広まっていますからね。うちは葉山町の産後ケア事業についても受託をしていますので、葉山の町民の方が利用することも可能になっています。

会 長 ティアラで出産した人は全員それへ行くわけではないのですか。

事務局 そうですね。自治体の助成ですので市民の方に限ります。

会 長 希望のある方ですか。

事務局 ええ。ただ、自費ではどこでもそれは同じサービスが受けられますが、助成を受けようとなるとその住んでいるところの自治体の制度に乗っからないと。

会 長 そうですけど、ティアラで出産した鎌倉市民の人は、全員分娩後2週間で受診するというわけではないのですか。

事務局 2週間健診は基本やっています。

会 長 やっていらっしゃる。それはいいですね。それでは、平成30年度の今ご報告ございましたような体制、それで中の予算、一層の削減にご尽力をいただいてやっていかれるということとしますので、どうぞよろしく願いいたします。

事務局 それでは、次回開催日時について、年明け31年半年後になりますが、1月下旬の火曜日29日前後を予定しています。また改めてご案内さしあげます。最後に、鎌倉市医師会会長代行から一言ご挨拶させていただければと思います。

医師会長代行 いつも貴重なご意見をありがとうございます。出産数が減ってきましたのは、内部要因じゃなくて、医院とか総合病院、センターなど供給が多くなったということですから下がってきましたけど、そういう需給関係のバランスってこれ以上下がることはない。140名はちょっと少な目だと思うのですが、ただ、本来は鎌倉で産むところはないという趣旨でつくられた部分が、少し供給が過多になって本来の目的からどうかということで、それから多額の補助金をいただいていますので、それに対して市が来年、来期も同様に出していただけるということは大きな問題だと思いますね。それに対して、こちらができることは、即効性があるのはさらに人件費を下げる。節約するというか。先ほど出ました当直料8万円というのは仕事の量で決まるものじゃなくて、実は我々外科医は3万5,000円から4万円ぐらいで夜も寝られないぐらいのときもあるような当直をやっているのですが、これは当直医がいないと成り立たない。あと絶対数が足りないと、そういう相場になってしまうということで。

委員 需要と供給のバランスですね。

医師会長代行 そうですね。ただ、翌日も日勤の仕事をしていただくのであれば、そのセットとしては割高になると思いますので、もうちょっと値引き交渉も可能ではないかと思います。さらに経費削減して補助金をせめて1億を割るぐらいにしたいなと思います。頑張りますのでよろしく願いいたします。ありがとうございました。

会長 ありがとうございました。それでは、本日の協議会のほうはこれで終了とさせていただきます。お忙しい中、ご尽力いただきましてありがとうございました。

